crontab 記述方法

Linuxで定期的にコマンド実行したい時には、crontab コマンドを利用する。

編集

```
$ crontab [-u ユーザ名] -e
```

- ユーザ名を省略すると現在のユーザ権限で登録。又、sudo コマンドから実行すると、root、ユーザ権限で登録。

閲覧

```
$ crontab [-u ユーザ名] -l
```

- ユーザ名を省略すると現在のユーザ権限の情報。又、sudo コマンドから実行すると、root、ユーザ権限の情報。

書式

```
分　時　日　月　曜日　コマンド
```

曜日の書き方

曜日を「0～7」（0,7は日曜日）または、sun、sat、で指定。ワイルドカード(*)を指定すると毎日。

```
0 sun
1 mon
2 tue
3 wed
4 thu
5 fri
6 sat
```

サンプル

```
0 1 * * sat /sbin/shutdown -r now
0 5 * * sat /var/www/backup/backup.sh > /var/www/backup/log/www-backup.log
2>&1
```

crontab情報の格納先

Ubuntuでは、以下フォルダにユーザ名のファイルが作成される。

```
/var/spool/cron/crontabs/
```

参考

1. UNIX/Linuxの部屋 crontabコマンドの使い方

From:
https://www.yokoweb.net/dokuwiki/ - 新石器Wiki

Permanent link:
https://www.yokoweb.net/dokuwiki/software/ubuntu/command/crontab-cmd

Last update: **2026/07/28 13:16**